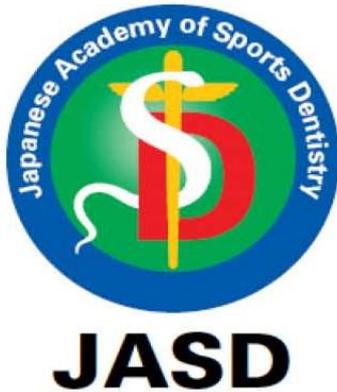


第5回 日本スポーツ歯科医学会 認定医研修会

プログラムならびに抄録



主催：日本スポーツ歯科医学会

2008年1月20日

大阪大学中ノ島センター

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53

電話:06-6444-2100 FAX:06-6444-2338

運営担当

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座歯科補綴学第二教室

プログラム

進行： 前田芳信 （スポーツ歯科医学会理事）

1) 10：00～10：50 額賀康之 先生

「スポーツ歯科医学会認定医に求められるもの：

ラグビー競技の現場から」

スポーツ歯科医学会理事 認定委員会委員長

2) 11：00～11：50 大平充宣 先生

「スポーツに運動生理学を生かす」

大阪大学大学院医学研究科 教授

12：00～13：00 昼食

3) 13：00～13：45 前田憲昭 先生

ドーピングの基本概念

スポーツ歯科医学会理事

4) 13：55～14：40 竹内正敏 先生

スポーツ歯科とコンディショニング技法

スポーツ歯科医学会理事

なお、質問は各講演のあとならびに4) 終了後に受け付けます

1. スポーツ歯科医学会認定医に求められるもの

: ラグビー競技の現場から

額賀康之

<略歴>

- ・ S47年 東京歯科大学卒業
- ・ 医学博士（千葉大学）
- ・ 千葉大学医学部歯科口腔外科助手
- ・ 東日本学園大学（現北海道医療大学）
歯学部第一口腔外科助教授
- ・ 額賀歯科医院院長（現在）
- ・ 関東ラグビーフットボール協会
メディカルソサエティー歯科委員会委員長
- ・ 日本スポーツ歯科医学会理事・同 認定医
- ・ 日本ラグビーフットボール協会育成コーチ



スポーツ歯科医学会認定医制度は発足後 3 年を迎えた。スポーツ歯科医学はフィールドの学問であり、スポーツの現場でいかにその目的を達成できるかがその未来を決定すると言っても過言ではない。医科にも、日本体育協会公認のスポーツドクターを始めとする 3 種類のスポーツ認定医が存在するが、その資格をスポーツの現場で有効に利用している医師はまだ十分とは言えない。その原因としては日本のスポーツ界のシステムや日本人のスポーツ観に未成熟な部分が残されているものと思われる。

私たちの分野においても、今後スポーツの現場でいかにして実効性のある学問として定着させるのかが大きな問題となる。今回は私のフィールドであるラグビーでの経験や、すでに地方の体育協会やスポーツ団体において歯科医学的サポートを行っている先生方の活動を紹介して学会認定医を目指す皆さんの一助としたい。

私は過去 40 年以上にわたって、プレイヤー、レフリー、コーチそしてメディカルスタッフとしてスポーツの現場と接してきた。その年限の間には自らの怪我や多くの外傷、障害に接し、またある時はそれまでの自分自身のスポーツ観の大きな転換を経験してきた。スポーツ歯科の歴史の中心はマウスガードの研究そして普及が中心であったことには異論がない。しかし、この普及活動でさえ容易な事ではなかった。これらのことから学んだ、スポーツデンティスト(学会認定医)に求められることについて述べたい。

また、次回の札幌開催の研修会においてはスポーツの現場における実際の活動について

話す予定である。

<メモ>

2. スポーツに運動生理学を生かす

大平充宣

<略歴>

昭和 49 年 2 月	UCLA キネシオロジー学部、ハーフタイム research associate
昭和 54 年 3 月	カリフォルニア大学サンディエゴ校生物学部
昭和 55 年 12 月	UCLA キネシオロジー学部。Visiting assistant professor
昭和 58 年 10 月	ワシントン大学（ミズリー州セントルイス市）医学部 応用生理学。Research assistant professor (この間に、宇宙飛行士に応募。最終選考 7 名に残る)
昭和 61 年 4 月	鹿屋体育大学体育学部。助教授
平成 元年 11 月	UCLA キネシオロジー学部。Visiting researcher（1 年間）
平成 6 年 4 月	鹿屋体育大学体育学部。教授
平成 13 年 4 月	大阪大学健康体育部。教授。
平成 17 年 4 月	大阪大学大学院医学系研究科。教授。現在に至る



テレビゲームの普及や遊び場の減少・・・等が原因と推察されている子どもの体力低下が憂慮されている。高齢化社会では、老化や寝たきり、運動不足に起因した健康への影響も大きな健康問題となっている。ところが、オリンピックでの金メダルを目指すエリートアスリートからストレス解消や健康の維持・増進を目指すスポーツ愛好家に至るまで、日常生活でスポーツと親しんでいる人の数が増加しているのも事実である。

前者の場合、トレーニング機器や運動処方を目覚しい開発等に伴って、世界記録も塗り替えられている。ところが残念ながら、ドーピングの発覚により、メダルが剥奪されるだ

けでなく、記録も消滅するというニュースも枚挙にいとまがない。競技やトレーニング中のケガなどによりスポーツそのものを断念せざるを得ないケースも少なくない。良かれと思って実施したトレーニングが、好ましくない結果を招いたという報告もしばしば聞かれる。後者の場合、トレーニング強度は前者より低いのは当然であるが、運動の実施法に関しては“???”というケースが目立つ。専門のコーチやトレーナーが必ずしもそれぞれの場所にいるわけでないので、無理もなかろう。しかし、運動による効果は、その運動の特性（強度、持続時間、頻度等）に応じた特異的なものしか得られないのである。

前・後者いずれの場合も、効率のいいトレーニングをするのが必須であるが、運動する本人だけでなく、コーチや監督も知っておかなければならない原則がある。自分の体験や（しばしば問題となっている）マスコミからの情報を鵜呑みにした運動では、効果が挙がらないのみならず逆の効果を誘発してしまうこともある。そこで、これらの問題に“運動生理学”的立場から迫ってみたい。

<メモ>

3.ドーピングの基本概念

前田憲昭

<略歴>

大阪大学助手、兵庫医科大学助教授をへて

医療法人 社団 皓歯会理事長

日本スポーツ歯科医学会 理事

岡山大学歯学部 臨床教授

日本ラグビーフットボール協会 メディカルコミッティ委員

JADA公認DCO

日本ラグビーフットボール協会

アンチドーピングコントロール委員会委員



ドーピングをキーワードで解説する。

1：スポーツをする権利

多くの国でスポーツは国民の権利となっている。

2：スポーツに求められるもの

F a i r P l a y

公平 公正 この基本概念が成立しないとドーピングは成り立たない

3：薬物と方法 言葉から想像されるのは薬物であるが、方法も規制の対象となる。

場合によっては、禁止薬物を保持するだけで規制される。

4：アマチュアとプロ

最近、大リーガーの薬物使用が問題となって話題を呼んでいる。

そもそも、アマチュアとは何か。プロで禁止される意味は何か。

スポーツとは何かが問われる。

5：ドーピングは資本主義の副産物であり、ドーピングに染まった者は被害者である

いま、ヨーロッパでドーピングに対する新しい批判

6：WADAとJADA

国がWADAの条項を批准した。

文部科学省がガイドラインを提示

7：JADAの組織改革

DCOの専門化

8 : ドーピングの実際

TUE 治療目的での例外的薬物使用

競技内検査と競技外検査

採尿と採血

ドーピングの流れ

スポーツによって規制が追加される

<メモ>

サプリメントの使用について

ラグビー選手に限らず、スポーツ選手の栄養摂取の基本は食事であり、サプリメント(栄養補助食品)の使用はその食事内容の分析からエネルギー摂取量と消費量の不足分や蛋白質、ビタミンやミネラル等の各栄養素の不足分を補足するために必要となります。従って、自分に必要なものは何か、どれだけかを明確に把握した上でサプリメントを使用することが肝要です。

アンチ・ドーピング 宣言

(財)日本ラグビーフットボール協会は、アンチドーピングの活動について、全面的に、積極的に賛同、参画し、わが国の健全なるラグビー競技の普及、発展に寄与します。

いまやトップアスリートをはじめ多くのスポーツ選手がサプリメントを使用することは日常茶飯事になっており、高校生のアンケート調査でも半数以上の選手が何らかのサプリメントを使用している現状をみるに、誰でもサプリメントを薬局、スポーツ店やコンビニエンス・ストアでも手軽に購入できる環境にあることも使用増加の要因の一つでしょう。その上、インターネット、通信販売や外国製品の並行輸入等で外国製品を簡単に使用することができる状況にあります。ここで特に注意を要することはサプリメントの成分です。成分表示について、諸外国と日本では薬事法がそれぞれ異なっており、国産の場合は信用のある企業の製品であれば問題はないと思われます。

しかし、海外ではドーピング禁止物質である筋肉増強剤アンドロステンジオンを『ANDRO』の商品名で「パフォーマンスを高める」と謳い「Dietary Supplement」として、エフェドリンはそのものを商品名(禁止薬物であるとの表示は勿論ない)として「フィットネスへの科学的アプローチ」としてビタミンショップ等で販売しています。他の物では禁止物質が含まれていても「分からない」あるいは成分が「不明なもの」も無いわけではありません。これらの内容・成分表示はそれぞれの母国語で細かい字で記載されており、「サプリメント」の表示だけで内容を十分確認せずに使用する恐れがあることは大きな問題であり、選手自身、コーチやチームドクターも十分注意することが必要です。

では、一体どのサプリメントを選択したら良いのかということになるわけです。

世界のスポーツ界はドーピングの弊害を克復し、スポーツ精神を保全するため世界アンチ・ドーピング機構(World Anti-Doping Agency 略称 WADA)を2001年に設立し、日本のスポーツ界もこれに応え、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)を設立しました。

JADAは事業の一環として、アンチ・ドーピング活動の施策の一つとして「JADA スポンサーシップ」を展開することにしました。その一つが「選手・消費者への信頼ある企業・商品の告知」を行い、アンチ・ドーピングを支援する企業・基準をクリアする商品を認定することでスポーツ選手やコーチに『使って安全な』ものの選別を促すことです。禁止薬物を含まない成分で作られたサプリメントに対し認定商品マークを貼付し安全性を強調します。いわゆる「まる適マーク」商品が明確になることで安心してサプリメントを使用することができます。JADAは認定商品の対象としてスポーツドリンク、エネルギーアシスト系食品、飲料などスポーツ選手が食用、飲用する機会が多い食品・飲料を対象に限定して順次審査を行う予定です。

(機関誌『RUGBY FOOTBALL』52-5号より)

4. スポーツ歯科とコンディショニング

竹内正敏

<略歴>

日本スポーツ歯科医学会理事、認定医
福井大学工学部機械学科卒
大阪大学歯学部卒
京都大学医学部医用材料学講座
(現 再生医科科学研究所) をへて
京都市にて開業
元大阪大学歯学部 非常勤講師



演者がスポーツ歯科医として現場に出るようになってから、ほぼ15年が経ちました。その間、多くのメディカルスタッフの方と知り合いましたが、なかでも常日頃スポーツ選手の健康管理に携わっているトレーナーといわれる職種の人達とは、口腔外傷の応急手当やマウスガード作製を介して最もコンタクトする機会が多くありました。

現在、日本でトレーナーとして活動しておられる方の多くは、理学療法士、鍼灸師、柔道整復師、マッサージ師、健康運動指導士など、運動療法や手技療法の資格を持つ、いわゆるセラピスト（施術師）の方が大半です。そのため、話題も自然と口腔の運動療法や手技療法、また治療対象となる口腔の筋肉となるのですが、驚いたことに彼等の多くは口腔を自分達のテリトリーとは考えていないようで、それに適用する技法をあまり持ち合わせてはおられないのです。しかし、恥ずかしいことに私にもそれを教えてあげられる知識はありませんでした。正直、医科歯科二元論のはざままで口腔の筋肉は治療の対象として忘れ去られていたように思えます。

演者らは、スポーツ選手のサポートにあたっていろいろなメディカルスタッフとチームを組んで活動していますが、その勉強会で学んだことのなかから、運動療法や手技療法、さらにはアイシングやホットパックなど高価な機器を使用しない理学療法をコンディショニング技法と名付けました。今回の講演ではその一端を紹介したいと思います。

内容概略

- ・理学療法のいろいろ（特に手技療法について）
- ・独断と偏見の顎運動解析（クロスフィンガーマニューバは顎に悪い）
- ・トリガーポイント療法（経穴、ツボ刺激療法とどう違うの？）
- ・スポーツ歯科的ガムを噛む作法（筋力トレーニング原則の適用）

<メモ>



吸引成型と加圧成型の併用により 幅広い用途で高精度のマウストレーが 簡単に得られます。

吸引 + 加圧

【用途】 スポーツマウスガード、ブリーチングトレー、
ナイトガードおよび各種トレーなどの製作

●簡単操作

固定やロック動作の操作が簡単です。



シート固定はワンタッチ



加圧チャンバーのロックも簡単・確実

【関連商品】



松風キャプチャーシート
スポーツマウスガード用
成型器（モデルキャプチャーなど）を用いた
スポーツマウスガード製作時に使用する熱
可塑性樹脂。



包装・価格

一般医療機器 医療機器届出番号 26B1X00004000181

モデルキャプチャー 一式 **¥278,000**

歯科技工用成型器
(熱可塑性樹脂吸引加圧成型器)

- 付属品： 模型固定用砂650g/1袋、模型作業台用リング/1個、
ステンレストレー/1枚、シリコングリス/1個、
エアチューブ2m (φ6三又ジョイント付)/1本
- 仕様： 定格電源/AC100V±10V 50/60Hz 電源入力/400VA
供給空気圧/0.2~0.6MPa
外形寸法/W300×D275×H455 (mm) 質量/約15kg

寸法： 127×127 (mm)
クリアー/厚さ： 3種 (2mm、3mm、4mm) 各12枚入¥3,000
カラー/厚さ： 4mmのみ
色調： 5色 (ホワイト、ブラック、ブルー、オレンジ、イエロー)
各12枚入¥3,500

価格は2008年1月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社：〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

<http://www.shofu.co.jp>

●支社：東京(03)3832-4366 ●営業所：札幌(011)232-1114/仙台(022)299-2332/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6252-8141/福岡(092)472-7595